

都市再生整備計画(第7回変更)

しもふるさわ かみふるさわしゅうへん
下古沢・上古沢周辺地区

かながわけん あつぎし
神奈川県 厚木市

平成24年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	神奈川県	市町村名	厚木市	地区名	下古沢・上古沢周辺地区	面積	650 ha
計画期間	平成 19 年度 ~ 平成 28 年度	交付期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度				

目標 大目標 豊かな自然にふれあい、生涯を通じて、安らぎ、憩える快適生活のまちづくり 目標1 緑・水などの自然環境の保全を考慮した市民が安らぎ、憩えるまちづくりを図る。 目標2 快適な住環境と住民生活の安全性と利便性の向上を図る。

目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 本地区は、市街化区域と市街化調整区域が半々の区域となっており、市街化区域においては、昭和50年頃までは、緑にかこまれた静かな農村地帯であったが、昭和50年度以降、毛利台地区の大手民間会社による大規模宅地造成、森の里地区を始め5つの土地区画整理事業が行われたことで、居住人口が大幅に増加し、森の里地区には、青山学院大学、松陰大学、厚木西高校が進出した。また、富士通、NTT等の研究所も進出し、住宅団地や低層の良好な住宅地や研究所、大学、高校が集積したエリアが形成され、多様な土地利用が図られている。残念ながら青山学院大学は相模原市に移転したが、その跡地には日産自動車先行開発センターの建設が現在行われている。 市街化調整区域においては、玉川、恩曾川が地区内を流れており、川沿いに農地が広がり、既存の宅地とのどかな田園風景がみられる。 また、豊かな自然が地区内に存在しており、都市計画緑地である、上古沢緑地、愛名緑地を有しているとともに、豊かな山林が存在している。 居住している住民の生活環境やコミュニティの場の拠点と、豊かな自然を生かした余暇活動の場や観光拠点の形成を進め、多くの市民が利用できるような快適な環境創造が必要である。
課題 毛利台地区や森の里地区等の開発区域以外の地区について道路網の整備が遅れている。 上古沢緑地、愛名緑地と豊かな自然を備えた緑地があるが、今後の余暇活動の促進を踏まえ、多くの市民の利用者の増を見込んだ整備が必要である。 研究所が多く存在し、進出も見込まれ、一部箇所では交通量の増が見込まれ、アクセス道路等の整備が必要である。 市街化調整区域内の居住区域では、狭隘道路が多く存在しており、歩行者の通行や、緊急車両の走行に支障を来している。 地域住民の交流を促進する施設が不足している。
将来ビジョン(中長期) 総合計画「あつぎハートプラン」の基本構想で自然共生のまちづくりを掲げ、水と緑と太陽のまちづくりを目指しており、市民の憩いの場となる豊かな自然を生かした緑地整備等を進める。 厚木秦野道路(国道246号線バイパス)が計画され周辺地区にインターチェンジが設置予定となっており、新たな産業集積等を考慮した道路網の整備、自然環境の保全を進める。 業務核都市の業務集積地区については、研究開発や高度技術系産業などを主体とする新たな産業拠点として整備を進める。

目標を定量化する指標								
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値		
					基準年度		目標年度	
みどりのまつり来訪者	人	4月下旬に実施するみどりのまつりの来訪者	道路網の整備により交通アクセスが向上し、みどりのまつりへの来訪者が増加する。	45,000	平成18年度	50,000	平成23年度	
上古沢方面のバス路線本数	本 / 1日	上古沢行きのバス路線の本数	道路網の整備により交通アクセスの向上が図られ、バス路線が増加する。	23	平成18年度	30	平成23年度	
生活環境に関する意識	%	当該地区の市民意識調査のまちづくりに変化に対する指標の平均	道路整備、河川環境、緑地保全等の整備により市民の生活環境(自然環境・道路・河川・コミュニティの形成)に対する満足度が増加する。	15	平成17年度	20	平成23年度	

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 緑・水などの自然環境の保全を考慮した市民が安らぎ、憩えるまちづくりの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が気軽に憩える自然環境を配慮した緑地等の整備を行う。 ・自然環境を考えた河川整備を行う。 ・河川の水質の改善を図るため整備を行う。 	<p>基幹事業 【公園事業】 上古沢緑地 【道路事業】 市道J-644号線 【河川事業】 準用河川恩曾川 【地域生活基盤事業】 (仮称)梅見里緑地 提案事業 【地域創造支援事業】 下水道管布設事業</p>
<p>整備方針2 快適な住環境と住民生活の安全性の向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域、学校、家庭の絆を深め、地域の住民が世代を問わず気軽に集い交流ができる拠点整備を進める。 ・歩行者等地域住民が安心して通行できる道路の整備を行う。 ・幹線道路の整備により交通アクセスの利便性の向上を図る。 ・下水道管の布設により快適な生活環境の向上を図る。 ・児童に温かい給食を速やかに提供することで食育の推進、食の安全性を確保し、この地域の居住を推進する施設の整備を進める。 	<p>基幹事業 【高次都市施設】 厚木市立愛名老人憩の家、(仮称)下古沢地域交流センター 【道路事業】 森の里上古沢線・赤坂津古久環状線・旗谷上古沢線 市道J - 427号線・市道F - 462号線外・市道四辻上古沢線 市道小野森の里幹線・市道愛名森の里線・市道愛甲高坪線 市道長谷愛名幹線(修繕)・市道辻戸室線・市道長谷愛名幹線 市道森の里環状線外・市道辻戸室線(修繕) 提案事業 【地域創造支援事業】 小島中エレベータ整備事業・玉川中エレベータ整備事業 森の里中エレベータ整備事業・毛利台小単独給食調理場整備事業 事業 関連事業 【地域創造支援事業】 赤坂竹ノ内線・(仮称)梅見里セレモニ一施設整備事業</p>
<p>整備方針3 豊かな自然環境区域への利便性の向上や憩いの場の整備を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然を生かした広場や緑地へアクセス向上のための道路整備を行う。 ・自然景観の眺望を活用し、自然と一体化した憩いの場としての文化施設の整備を行う。 	<p>基幹事業 【公園事業】 上古沢緑地 【道路事業】 森の里上古沢線・旗谷上古沢線 市道小野森の里幹線・市道愛名森の里線・市道J-644号線</p>
<p>その他</p> <p>平成16年度より上古沢緑地に市民による植栽を行っており、平成18年10月に第4回植栽イベントを行った。</p> <p>上古沢緑地に清水が湧いており、現在、その清水を貯める施設を設置し、蛍の復活などの清水を利用した事業を検討している。</p> <p>安心安全のまちづくりの一環として、防犯パトロールや民間監視所を設置し防犯活動を行っている。</p>	

交付対象事業等一覧表

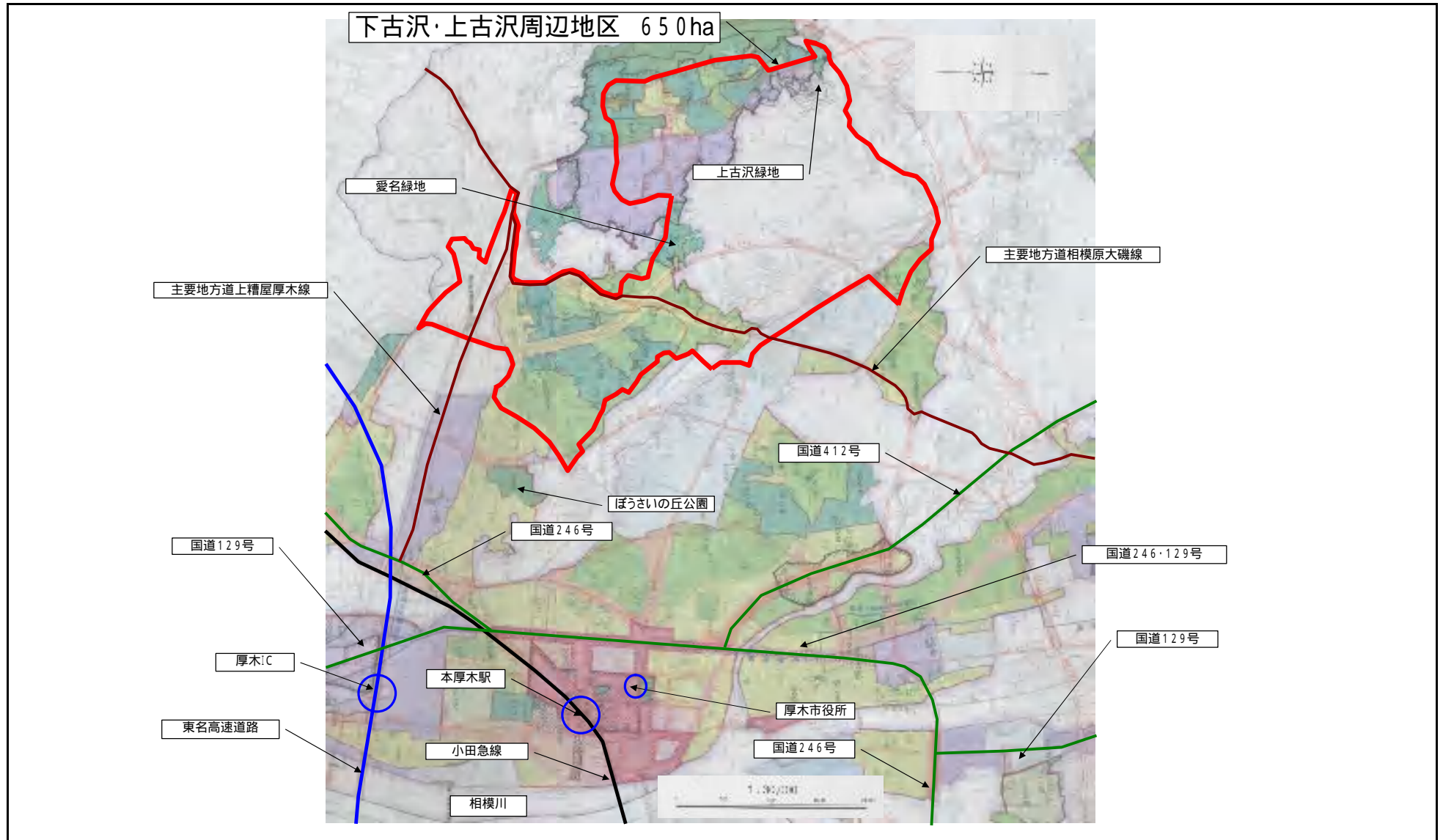
交付対象事業費	3,360	交付限度額	1,266	国費率	0.377
---------	-------	-------	-------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		森の上古沢線	厚木市	直	650m	19	22	19	22	139.5	139.5	139.5		139.5
		赤坂津古久環状線	厚木市	直	61m	21	21	21	21	7.3	7.3	7.3		7.3
		旗谷上古沢線	厚木市	直	1,200m	21	23	21	23	880.2	880.2	880.2		880.2
		市道J-394号線	厚木市	直	60m	21	21	21	21	4.6	4.6	4.6		4.6
		市道J-427号線	厚木市	直	45m	20	20	20	20	10.9	10.9	10.9		10.9
		市道F-462号線外	厚木市	直	713m	19	21	19	21	17.3	17.3	17.3		17.3
		市道四辻上古沢線	厚木市	直	205m	19	19	19	19	2.7	2.7	2.7		2.7
		市道小野森の里幹線	厚木市	直	758m	19	21	19	21	49.0	49.0	49.0		49.0
		市道愛名森の里線	厚木市	直	844m	19	23	19	23	33.0	33.0	33.0		33.0
		市道愛甲高坪線	厚木市	直	369m	19	21	19	21	10.5	10.5	10.5		10.5
		市道長谷愛名幹線(修繕)	厚木市	直	780m	19	22	19	22	52.2	52.2	52.2		52.2
		市道辻戸室線	厚木市	直	6基	19	19	19	19	2.9	2.9	2.9		2.9
		市道長谷愛名幹線	厚木市	直	97m	19	19	19	19	5.6	5.6	5.6		5.6
		市道森の里環状線外	厚木市	直	28基	21	22	21	22	8.5	8.5	8.5		8.5
		市道J-644号線	厚木市	直	198m	20	21	20	21	48.1	48.1	48.1		48.1
		市道辻戸室線(修繕)	厚木市	直	240m	22	22	22	22	13.0	13.0	13.0		13.0
公園		上古沢緑地	厚木市	直	駐車場整備 A=1,510㎡	22	22	22	22	16.4	16.4	16.4		16.4
河川		準用河川恩曾川	厚木市	直	380m	5/50	23	20	23	1,439.9	260.1	260.1		260.1
下水道														
駐車場有効利用システム					-									
地域生活基盤施設	緑地・広場	(仮称)梅見里緑地	厚木市	直		19	23	19	23	509.8	509.8	509.8		509.8
高質空間形成施設					-									
高次都市施設	地域交流センター	厚木市立愛名老人憩の家	厚木市	直	-	19	20	19	20	116.7	116.7	116.7		116.7
高次都市施設	地域交流センター	(仮称)下古沢地域交流センター	厚木市	直	-	21	23	21	23	90.6	90.6	90.6		90.6
既存建造物活用事業														
都市再生交通拠点整備事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
人にやさしいまちづくり事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
	合計									3,458.7	2,278.9	2,278.9	0.0	2,278.9

都市再生整備計画の区域

<p>下古沢・上古沢周辺地区(神奈川県厚木市)</p>	<p>面積 650 ha</p>	<p>区域 下古沢・上古沢一部・飯山一部・毛利台・温水西一部・温水一部・愛名一部・小野一部・森の里1・2・4丁目・森の里5丁目一部・森の里青山一部</p>
-----------------------------	------------------	---



下古沢・上古沢周辺地区(神奈川県厚木市) 整備方針概要図

目標	豊かな自然にふれあい、生涯を通じて、安らぎ、憩えるが快適生活のまちづくり	代表的な指標	みどりのまつり来場者数 (人)	45,000 (18年度)	50,000 (23年度)
			上古沢方面のバス路線本数 (本/日)	23 (18年度)	30 (23年度)
			生活環境に関する意識 (%)	15 (17年度)	20 (24年度)

